

サロン・ド・キッチン北須磨 運営推進会議 報告資料

1. 運営の概要

【開設日】 R7.7.1

【定員】 10 名

【営業日】 月・火・木・金・土曜 （日・水曜が休み。年末年始は休み）

【サービス提供時間】 9:30～16:30

【送迎範囲】 須磨区内

【費用】 介護保険自己負担分+食材料費 1000 円

【プログラム】

9:30～ 開始・健康チェック

10:00～ 調理

12:00～ 食事

14:00～ 機能訓練

15:30～ おやつ

16:30 終了

【主な特徴】

・料理を利用者全員で、毎日作ります。

【職員体制】

・管理者兼介護士 1名(常勤)

・生活相談員1名(常勤)

・看護師兼機能訓練指導員 1 名(パート)

・介護士 パート2名

2. 運営方針

(1)認知症予防

①認知機能向上

・料理(計画・試行錯誤・反省修正・五感の刺激)

・運動(柳本教授監修の歩行と脳の改善プログラム)

②認知症の負のスパイラルを断ち切る。

・脳機能低下による不安や混乱が、怒りや暴言・不穏などの行動・心理症状(BPSD)を引き起こし、それに対する周囲の否定的な対応で症状がさらに悪化する悪循環

・不安や混乱の状態を理解し、心理的支援をする

・怒りや暴言・不穏のはけ口になる。

- ・周囲の否定的な対応の仲介ができるように家族他関係者との信頼関係を醸成する。
また「その人らしさ(自分らしさ)」「努力」「新たな側面の発見」を家族他関係者にしっかり伝えていくことで、否定的な見方を緩和していく。
- ③認知症に負けない。認知症に対する「予防体力」「免疫を高める」
 - ・社交を通して、認知症の自分と折り合いをつける。認知症もキャラクターの一部として取り込んでいく。社交は自己変革の場。
 - ・認知症予防の正しい取り組みをしていることを理解して、信じて取り組む。
- ④認知症の人にやさしい地域づくり
 - ・地域の取り組みに参画し、認知症に対する住民の理解促進を図る。

(2)ノルディック・ウォークによって 100 歳まで歩ける自分を目指す

①歩行訓練の目標

- ・4 本足を習得して、100 歳になっても、トイレまでぼつぼつと歩けることを目指す。

②ノルディック・ウォークの効果

- ・歩行姿勢の改善
- ・膝痛・腰痛の方が、痛みの少ない歩き方ができる。
- ・屋外や悪路でも歩きやすい(転倒予防)

3. 運営実績 (R8.2～R8.8)

(1)稼働率 69% (R8.8 実績)

- ・登録 男性 3 名、女性 22 名
- ・介護度分布 要支援 1(2 名) 要支援 2(1 名)
要介護 1(13 名)、要介護 2(8 名)、要介護 5(1 名)
- ・介護保険利用 24 名、自費 1 名
- ・須磨区 23 名、長田区 1 名 加古川市1名

(2)広報

- ・毎月、サロン・ド・キッチン通信を作成し、利用者及び区内ケアマネ事業所に発送
- ・インスタ投稿。月に約4回投稿。利用者の調理や運動の風景。家族も楽しみにしてくださっている。
- ・ホームページ、R8.3 にリニューアル。ブログを月 1～2 回アップ。
- ・(R8.3.18)神戸新聞夕刊の1面に記事掲載。『認知症予防に「料理デイ」』

(3)地域交流

- ・地域の清掃活動に参加
- ・近所の方とは挨拶程度

- ・地域向けイベントの開催実績なし
- ・今後、ノルディック・ウォークの体験会を企画予定

(4) 苦情・要望・事故

- ・【苦情・事故】なし
- ・【要望】①料理の勉強になるような進行をしてほしい。②ダーツが2回続かないようにしてほしい(ノルディック・ウォークがしたい)。

(5) 衛生面の取り組み

- ・口に入る最終工程の食品を触るとき、生の肉魚等を触るときは原則として使い捨て手袋使用。
- ・しっかり火を通す。
- ・手洗い・消毒の徹底
- ・室内や調理備品の徹底的な清掃・消毒・清潔管理。特にトイレは徹底。

(6) 利用者・家族の声(一部)

- ・(家族)利用するようになってから母が明るくなってきてうれしい。
- ・(家族)デイサービスの様子を動画や写真で送ってもらえるので状況がよくわかって助かります。
- ・(家族)いつもごはんがおいしそうですね。
- ・(利用者)家では夫といってもほとんどしゃべらないので、ここでみんなとおしゃべりできるのが楽しい。
- ・(利用者)毎回外出に行くような気分で来ています。
- ・(利用者)他のリハビリにも行ってるけど、ノルディックウォークの運動はとても珍しく新鮮です。
- ・(利用者)室内がいつもきれいですべてが新品に見えます。

(7) 認知症予防学会にて取り組みを発表

- ・R8.9.11 開催・第15回日本認知症予防学会にて、サロン・ド・キッチンの認知症予防の取り組みについて、柳本有二教授(福井工業大学)が発表。

(8) 外出・屋外歩行訓練の取り組み

- ・R8年の春から初夏を中心に外出・屋外歩行訓練を強化しました。(綱敷天満宮の梅見、西郷川の河津さくら、花見(奥須磨公園・妙法寺川左岸公園、灘区桜のトンネル)、フルーツフラワーパーク、六アイバラ園、須磨海岸、妙法寺、須磨ナナファーム、兵庫大仏、烏が原水源

地、しあわせの村、多門寺のカキツバタ、名谷あじさい公園、こども本の森神戸、新長田鉄
人28号、ポーアイしおさい公園、五色塚古墳等)

・外出時は、ノルディックウォークで歩行

以上